

2024年3月期 第3四半期 決算説明

三菱ケミカルグループ
2024年2月6日

<2024年3月期 第3四半期 連結決算>

- ・ 決算サマリー 3
- ・ 連結損益計算書 4
- ・ 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 5
- ・ コア営業利益(全社)増減要因 6
- ・ 事業セグメント別 コア営業利益増減分析 7
- ・ 非経常項目 12
- ・ 連結キャッシュ・フロー計算書 13
- ・ 連結財政状態計算書 14
- ・ 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移 15

<参考資料①>

- ・ 24/3月期 トピックス 17
- ・ 連結損益計算書 四半期別推移 19
- ・ コア営業利益増減分析 20
- ・ 非経常項目 四半期別推移 21
- ・ 事業セグメント別 EBITDAマージン推移 22

<参考資料②>

- ・ ヘルスケアセグメント 医薬品事業 研究開発の状況 等 24

<参考資料③>

- ・ スペシャルティマテリアルズ 市場別動向 29

2024年3月期 第3四半期決算

- 市況の低迷など厳しい事業環境が続くなか、価格マネジメントとコスト構造改革の進捗などにより、売上収益は前年同期比5%減収ながら、コア営業利益は3%の増益となった。
- 半導体関連市場や広く産業材等において需要低迷の影響が継続し、回復に時間を要していることからスペシャリティマテリアルズ及びベーシックマテリアルズの販売数量が前年同期比で大きく減少した。一方、産業ガス及びヘルスケアにおける北米ラジカヴァの引き続きの好調などが寄与し、コア営業利益は前年同期を上回った。
- コスト削減活動を精力的に行い、第3四半期までに通期800億円の全社コスト削減目標を上回る820億円のコスト削減を積み上げた。
- 事業ポートフォリオ改革の一環により、当第3四半期においてクオリカプス株式会社の全株式を、Roquette Frères SAへ譲渡したことに伴う非経常利益の計上などにより、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比大幅増益。

2024年3月期 業績予想

- 第4四半期も需要の本格的な回復は見通せず、スペシャリティマテリアルズ及びベーシックマテリアルズの事業環境は低調継続を見込むものの、産業ガス及びヘルスケアの好調維持や事業ポートフォリオ改革の推進等に伴う非経常利益の計上を見込み、通期業績予想を据え置く。
- 引き続き、経営方針「Forging the future 未来を拓く」に関する実行計画に基づき、財務目標達成に向け重要施策を着実に遂行していく。

連結損益計算書

	23/3月期 3Q累計	24/3月期 3Q累計	増減	増減率
為替レート (¥/\$)	136.9	143.8	6.9	5%
ナフサ単価 (¥/kl)	80,000	67,900	△ 12,100	△15%
			(億円)	
売上収益	34,062	32,451	△ 1,611	△5%
コア営業利益 *1	1,779	1,839	60	3%
非経常項目	△ 1,293	286	1,579	
営業利益	486	2,125	1,639	337%
税引前利益	392	1,918	1,526	389%
四半期利益	448	1,443	995	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	170	1,039	869	510%
非支配持分に帰属する四半期利益	278	404	126	
*1 内、持分法投資損益	99	65	△ 34	

コア営業利益は、営業利益（又は損失）から非経常的な要因により発生した損益（事業撤退や縮小から生じる損失等）を除いて算出しております。

事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益

(億円)

	23/3月期 3Q累計		24/3月期 3Q累計		増減			
	売上収益	コア営業利益	売上収益	コア営業利益	売上収益	増減率	コア営業利益	増減率
全社	34,062	1,779	32,451	1,839	△ 1,611	△5%	60	3%
スペシャリティマテリアルズ	9,327	552	8,734	173	△ 593	△6%	△ 379	△69%
ポリマーズ&コンパウンズ	2,546	218	2,404	163	△ 142		△ 55	
フィルムズ&モールディングマテリアルズ	3,956	222	3,635	△ 28	△ 321		△ 250	
アドバンストソリューションズ	2,825	112	2,695	38	△ 130		△ 74	
産業ガス	8,664	843	9,224	1,225	560	6%	382	45%
ヘルスケア	3,199	200	3,379	554	180	6%	354	177%
MMA	2,361	2	2,071	△ 3	△ 290	△12%	△ 5	-
ベーシックマテリアルズ	8,623	177	7,488	△ 104	△ 1,135	△13%	△ 281	-
石化	5,766	81	5,208	20	△ 558		△ 61	
炭素	2,857	96	2,280	△ 124	△ 577		△ 220	
その他	1,888	5	1,555	△ 6	△ 333	△18%	△ 11	-

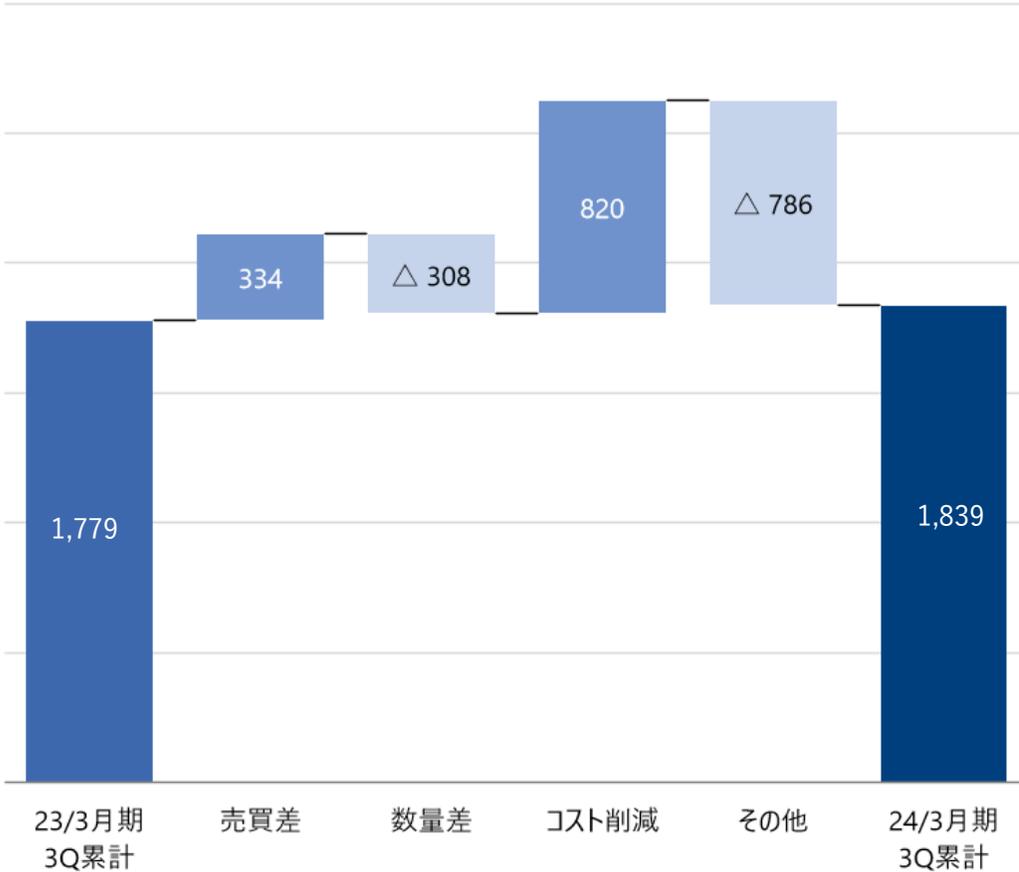
【在庫評価損益】	23/3月期 3Q累計	24/3月期 3Q累計	増減
ポリマーズ&コンパウンズ	16	0	△ 16
石化	214	11	△ 203
炭素	△ 7	9	16
合計	223	20	△ 203

- * 24年3月期よりセグメントを、「スペシャリティマテリアルズ」、「産業ガス」、「ヘルスケア」、「MMA」、「ベーシックマテリアルズ」、「その他」、へ変更しております。あわせて、一部の事業の所管セグメントを見直しており、比較情報としての23/3月期実績を組み替えております。
- * セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

コア営業利益（全社） 増減要因

(億円)

+60億円 増益



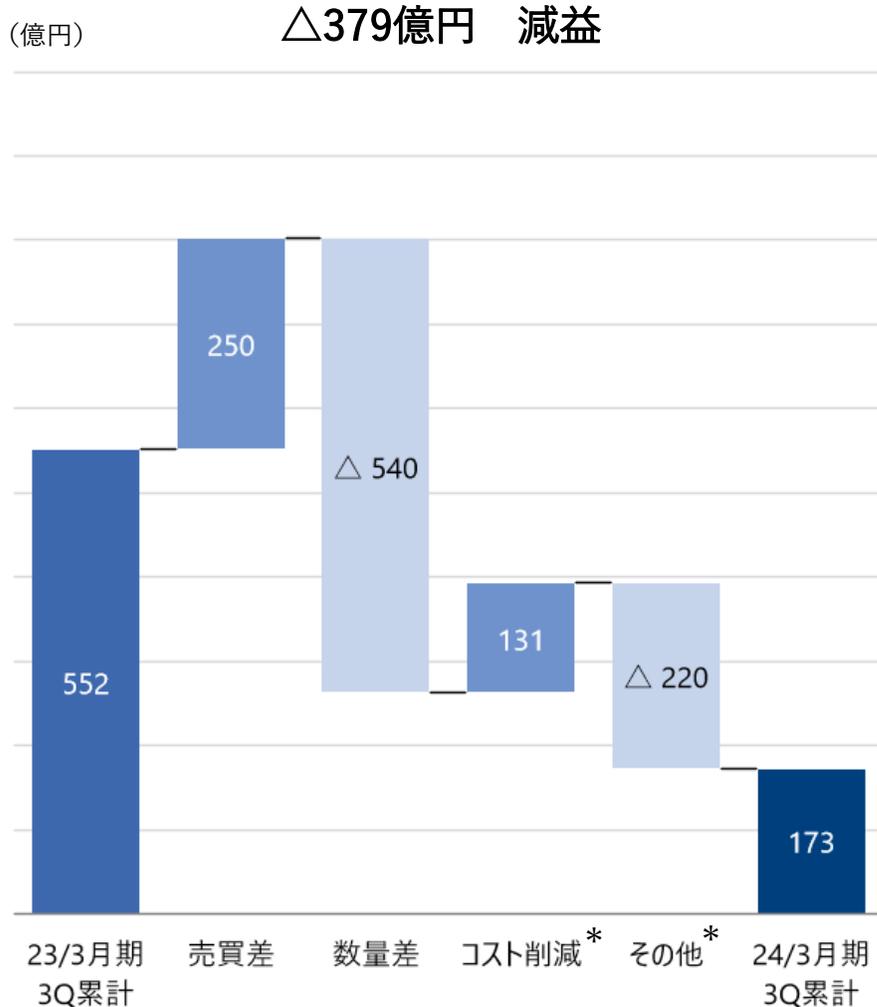
(億円)

	23/3月期 3Q累計	24/3月期 3Q累計	増減				
				売買差	数量差	コスト削減	その他 *1
全社	1,779	1,839	60	334	△ 308	820	△ 786
スペシャリティマテリアルズ	552	173	△ 379	250	△ 540	131	△ 220
産業ガス	843	1,225	382	197	△ 8	212	△ 19
ヘルスケア	200	554	354	△ 26	312	311	△ 243
MMA	2	△ 3	△ 5	△ 74	26	66	△ 23
ベーシックマテリアルズ	177	△ 104	△ 281	△ 15	△ 83	30	△ 213
その他	5	△ 6	△ 11	2	△ 15	70	△ 68

*1 在庫評価損益差△203億円・持分法投資損益差△34億円等の金額が含まれております。

為替影響	80	101	0	-	△ 21
うち換算差		76			

スペシャリティマテリアルズセグメント コア営業利益増減分析



ポリマーズ&コンパウンズ (△55)

売買差	(+) 販売価格の維持・向上による各種製品の売買差改善
数量差 (-)	(+) 自動車向け中心にバイオポリカーボネート新規採用拡大・増販 (-) グローバルでバリア包材や塗料・インキ・接着剤用途等の需要減退等による減販

フィルムズ&モールディングマテリアルズ (△250)

売買差	(+) 販売価格の維持・向上による各種製品の売買差改善
数量差	(-) グローバルでの需要減退に伴い、高機能エンジニアリングプラスチックや炭素繊維、一般用ポリエステルフィルム等の減販

アドバンスソリューションズ (△74)

売買差	(+) EV/モビリティ向け電池材料において売買差改善
数量差	(-) 半導体市場の調整局面継続。最先端プロセス向けは好調も、高機能薬液や精密洗浄サービスは減販

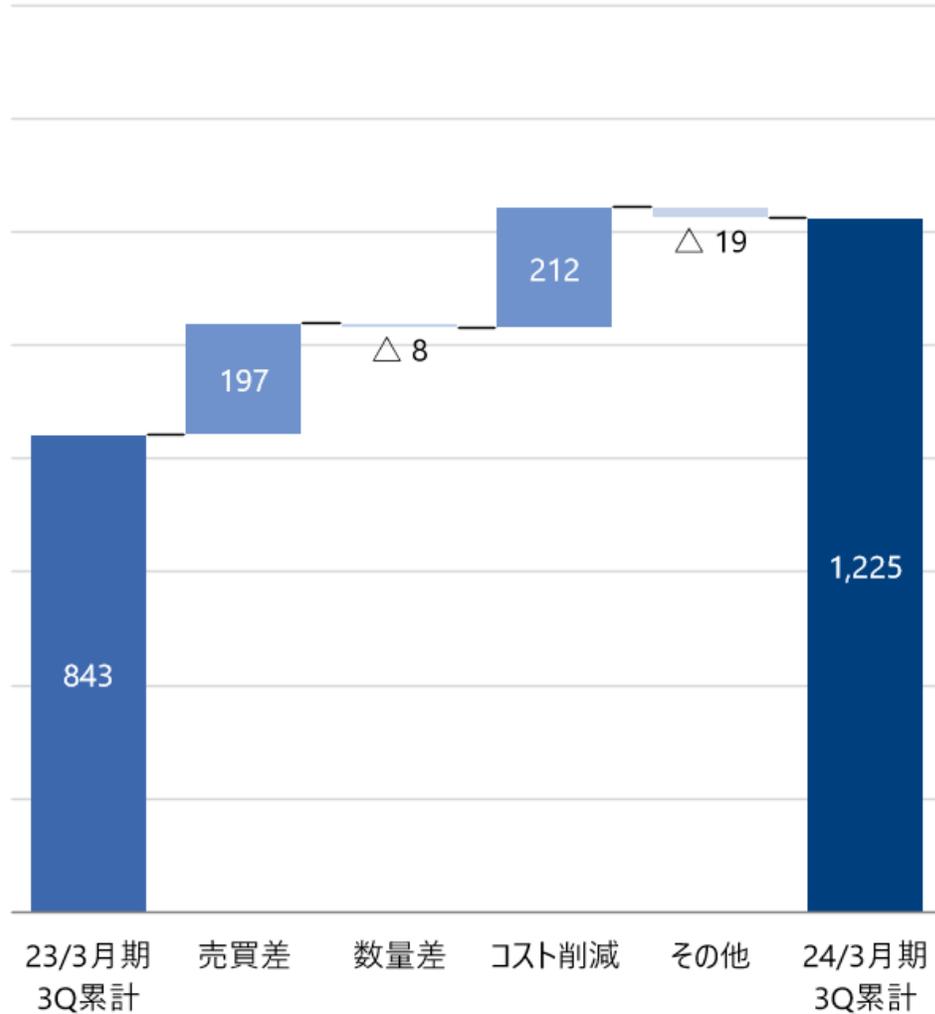
(※) コスト削減・その他内訳

コスト削減	(+) 事業構造改革、調達最適化、生産性向上等
その他	(-) 新製造ライン稼働等に伴う固定費の増加や、持分法投資利益の減少等

産業ガスセグメント コア営業利益増減分析

(億円)

+382億円 増益



産業ガス (+382)

売買差

(+) 各地域での価格マネジメントによる売買差改善

コスト削減

(+) DX活用、プラント操業最適化などの生産性向上活動

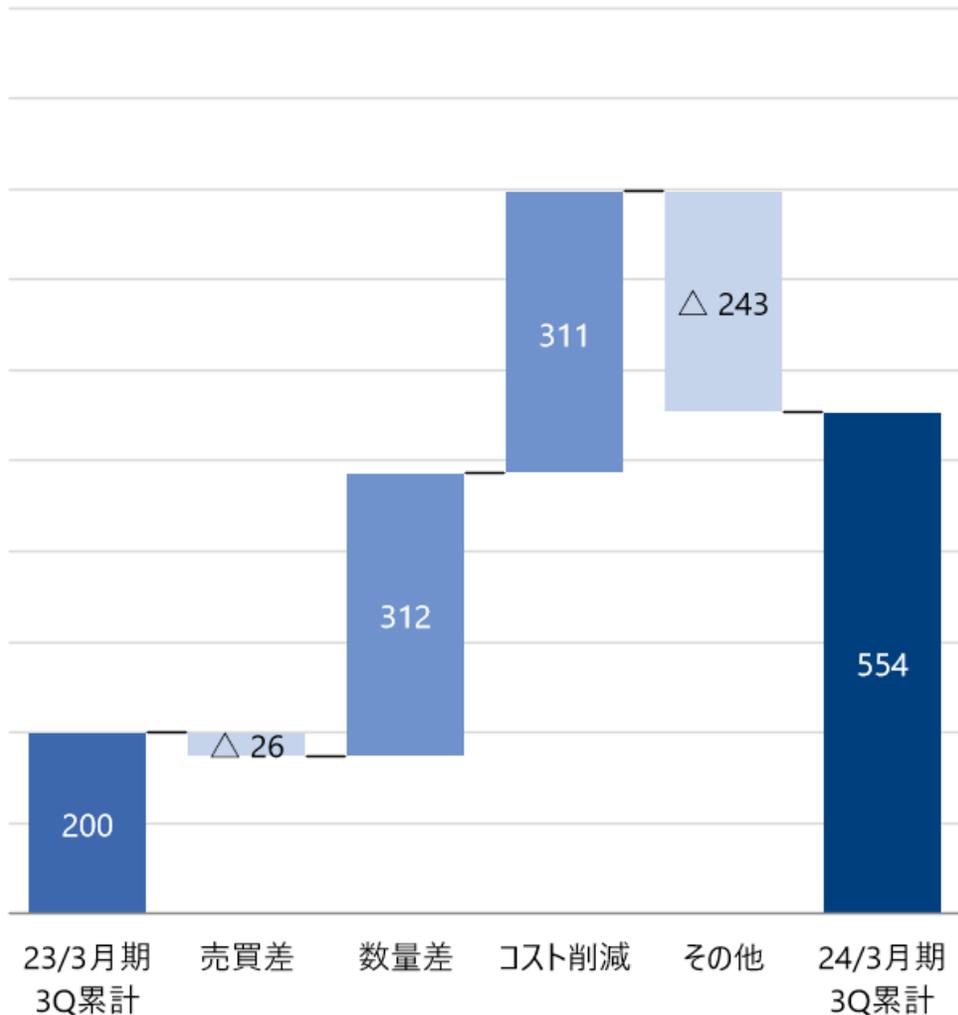
その他

(-) インフレによる費用の増加

ヘルスケアセグメント コア営業利益増減分析

+354億円 増益

(億円)



ヘルスケア (+354)

売買差

(-) 国内医療用医薬品の薬価改定等

数量差

(+) 北米でのALS治療薬ラジカヴァ経口剤の販売伸長
(+) 国内医療用医薬品の重点品・新製品の販売堅調

コスト削減

(+) メディカゴ社の事業撤退による研究開発費の減少及びコスト構造改革の進捗

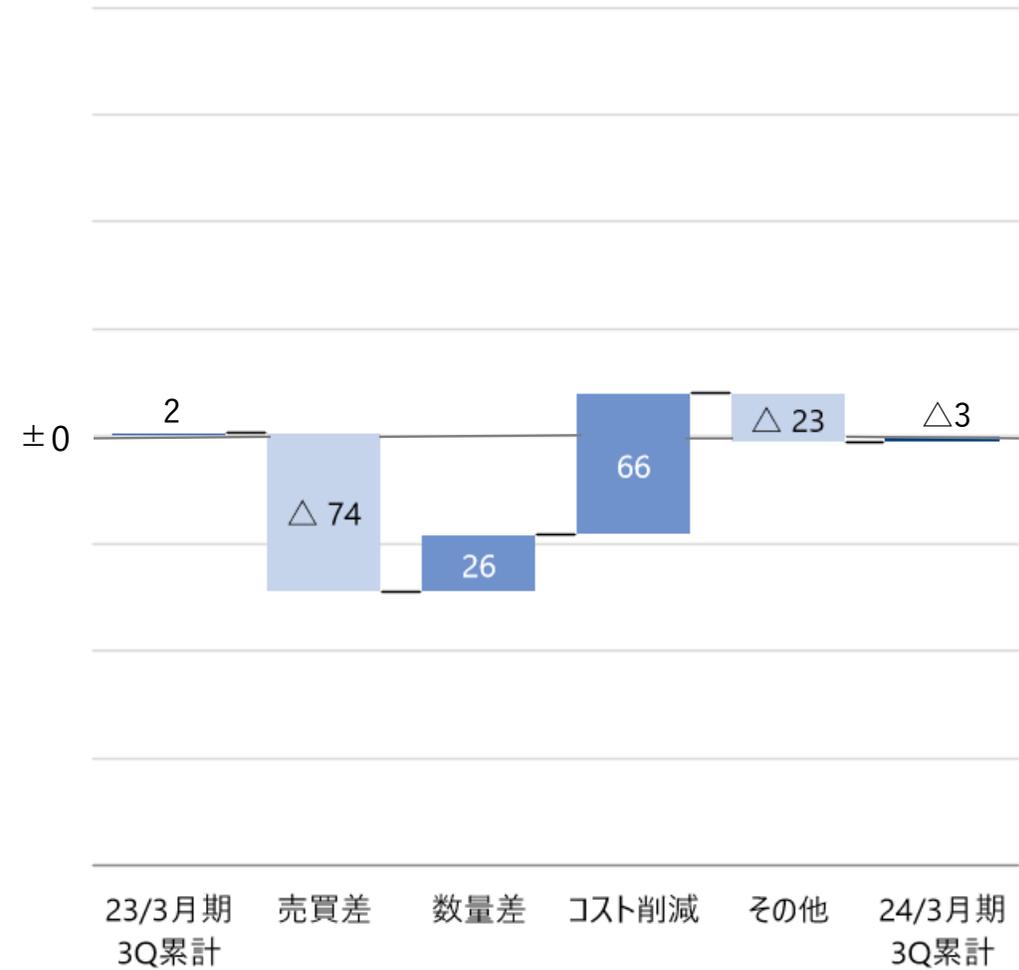
その他

(-) レクサプロの終売に伴う減益、新製品の上市に伴う販売費の増加、前期無形資産譲渡益影響 等

MMAセグメント コア営業利益増減分析

△5億円 減益

(億円)



MMA (△5)

売買差

(-) MMAモノマー等の市況の下落により、売買差悪化

数量差

(+) ANで減少も、MMAモノマー・PMMAは増加

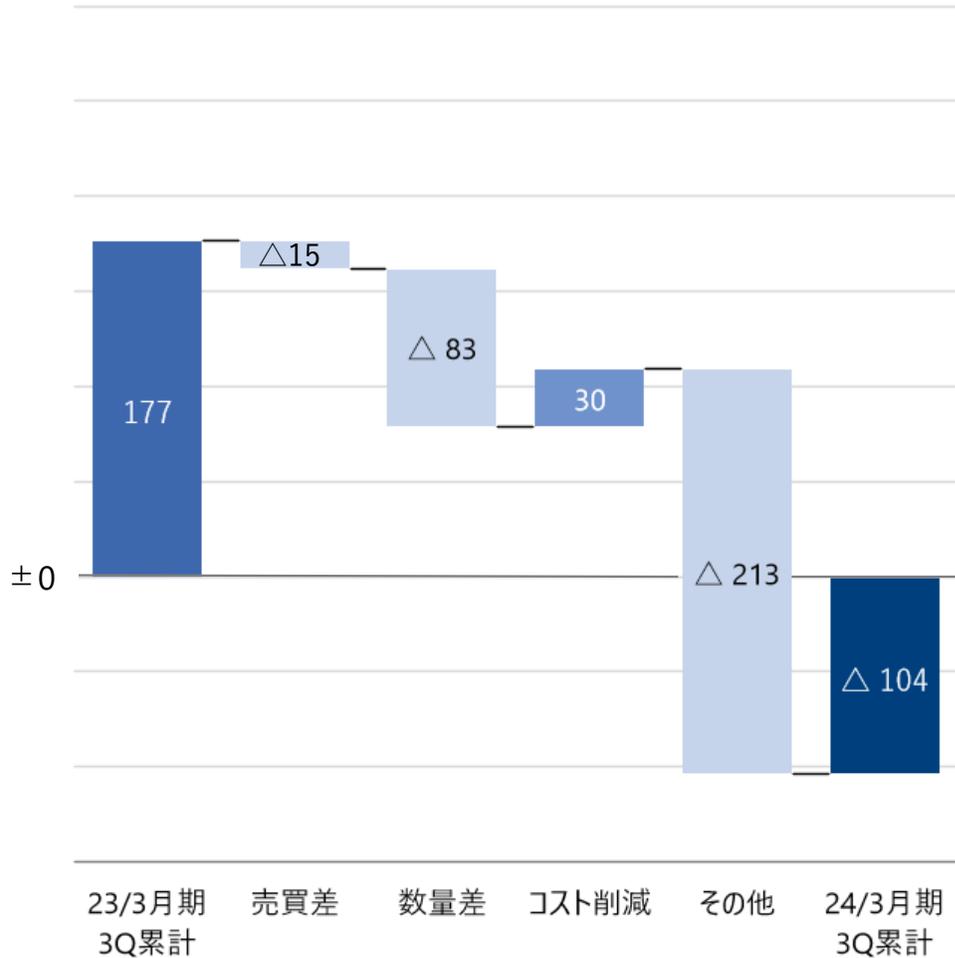
コスト削減

(+) 英国のキャッセル工場の閉鎖に伴うコスト削減

ベーシックマテリアルズセグメント コア営業利益増減分析

△281億円 減益

(億円)



石化 (△61)

売買差

(+) ポリオレフィンの価格改定時期ズレ

数量差
(-)

(+) 定修規模縮小

(-) 需要減退及びトラブルに伴う各製品の減産・減販

その他

(-) 原料価格下落に伴う在庫評価益の縮小

炭素 (△220)

売買差

(-) コークス市況の下落による売買差悪化

数量差

(-) 需要減退に伴う各製品の減販

非経常項目

(億円)

	23/3月期 3Q累計	24/3月期 3Q累計	増減
非経常項目 合計	△ 1,293	286	1,579
関係会社株式売却益	22	276	254
工場閉鎖関連損失引当金戻入額	-	64	64
資産除去債務戻入益	-	26	26
固定資産売却益	7	16	9
減損損失	△ 877	△ 137	740
事業整理損失	△ 7	△ 42	△ 35
固定資産除売却損	△ 24	△ 24	0
事業整理損失引当金繰入額	-	△ 17	△ 17
特別退職金	△ 43	△ 12	31
工場閉鎖関連損失引当金繰入額	△ 312	-	312
その他	△ 59	136	195

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	23/3月期 3Q累計	24/3月期 3Q累計
営業活動によるCF	1,740	2,850
税前損益	392	1,918
減価償却費	2,027	2,045
営業債権債務	△ 31	△ 183
棚卸資産	△ 1,063	76
その他	415	△ 1,006
投資活動によるCF	△ 1,744	△ 1,193
設備投資	△ 2,027	△ 1,975
資産売却	275	715
投融資 他	8	67
FCF	△ 4	1,657

	23/3月期 3Q累計	24/3月期 3Q累計
財務活動によるCF	88	△ 1,038
有利子負債	715	△ 310
配当 他	△ 627	△ 728
現金及び現金同等物の増減	84	619
為替換算差等	28	77
合計	112	696

連結財政状態計算書

	(億円)		
	23/3月末	23/12月末	増減
現金及び現金同等物	2,972	3,668	696
営業債権	8,088	8,182	94
棚卸資産	7,979	7,996	17
その他	2,457	2,744	287
流動資産合計	21,496	22,590	1,094
固定資産	23,671	24,070	399
のれん	7,277	7,534	257
投融資等	5,299	5,652	353
非流動資産合計	36,247	37,256	1,009
資産合計	57,743	59,846	2,103

	(億円)		
	23/3月末	23/12月末	増減
有利子負債	23,758	24,139	381
営業債務	4,763	4,784	21
その他	9,338	9,148	△ 190
負債合計	37,859	38,071	212
資本金・剰余金等	14,262	14,860	598
その他の資本の構成要素	1,384	2,162	778
親会社の所有者に帰属する持分	15,646	17,022	1,376
非支配持分	4,238	4,753	515
資本合計	19,884	21,775	1,891
負債・資本合計	57,743	59,846	2,103
ネット有利子負債 *1	20,786	20,470	△ 316
ネットD/Eレシオ	1.33	1.20	△ 0.13
ROE *2	6.4%	-	-

*1 ネット有利子負債(23/12月末)

=有利子負債24,139億円-(現金・現金同等物3,669億円+手元運用資金残高-) 注) 有利子負債はリース負債を含む

*2 親会社所有者帰属持分当期利益率

事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移

(億円)

	23/3月期					24/3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	累計	
全社	売上収益	11,065	11,633	11,364	12,283	46,345	10,612	10,887	10,952	32,451
	コア営業利益	721	505	553	1,477	3,256	508	688	643	1,839
スペシャルティマテリアルズ	売上収益	3,167	3,104	3,056	3,010	12,337	2,909	2,918	2,907	8,734
	コア営業利益	223	213	116	△ 37	515	92	79	2	173
ポリマーズ&コンパウンズ	売上収益	873	833	840	841	3,387	794	812	798	2,404
	コア営業利益	72	92	54	44	262	71	58	34	163
フィルムズ&モールディングマテリアルズ	売上収益	1,361	1,310	1,285	1,221	5,177	1,242	1,216	1,177	3,635
	コア営業利益	111	74	37	△ 42	180	16	△ 6	△ 38	△ 28
アドバンストソリューションズ	売上収益	933	961	931	948	3,773	873	890	932	2,695
	コア営業利益	40	47	25	△ 39	73	5	27	6	38
産業ガス	売上収益	2,739	2,954	2,971	3,115	11,779	3,068	3,014	3,142	9,224
	コア営業利益	295	248	300	367	1,210	398	405	422	1,225
ヘルスケア	売上収益	982	1,049	1,168	2,155	5,354	1,019	1,174	1,186	3,379
	コア営業利益	40	5	155	1,242	1,442	100	224	230	554
MMA	売上収益	878	790	693	691	3,052	690	694	687	2,071
	コア営業利益	28	20	△ 46	△ 42	△ 40	△ 9	26	△ 20	△ 3
ベーシックマテリアルズ	売上収益	2,691	3,070	2,862	2,595	11,218	2,427	2,486	2,575	7,488
	コア営業利益	152	22	3	△ 56	121	△ 80	△ 46	22	△ 104
石化	売上収益	1,775	2,030	1,961	1,771	7,537	1,575	1,772	1,861	5,208
	コア営業利益	58	33	△ 10	△ 56	25	△ 44	19	45	20
炭素	売上収益	916	1,040	901	824	3,681	852	714	714	2,280
	コア営業利益	94	△ 11	13	0	96	△ 36	△ 65	△ 23	△ 124
その他	売上収益	608	666	614	717	2,605	499	601	455	1,555
	コア営業利益	△ 17	△ 3	25	3	8	7	0	△ 13	△ 6

* 24年3月期よりセグメントを、「スペシャルティマテリアルズ」、「産業ガス」、「ヘルスケア」、「MMA」、「ベーシックマテリアルズ」、「その他」、へ変更しております。あわせて、一部の事業の所管セグメントを見直しており、比較情報としての23/3月期実績を組み替えております。

* セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

参考資料①

スペシャリティマテリアルズ

- Neogen Chemical Limitedと、インドにおけるリチウムイオン二次電池（LIB）用電解液の製造技術ライセンス供与に関する契約を締結しました。また、フッ素ケミカルメーカーのKoura社と、北米におけるLIB用電解液のサプライチェーン強化などに向けた協業検討を実施する覚書を締結しました。
- 韓国のLIB用正極材メーカーL&F Co., Ltd. と、米国FTA締結国におけるLIB用負極材のサプライチェーン強化などに向けた協業検討を実施する覚書を締結しました。
- 炭素繊維事業の強化に向け、炭素繊維強化プラスチック製の自動車部材メーカーである持分法適用会社のC.P.C.S.r.l.の全株式を取得することを2023年10月に決定し、2024年1月に完了しました。このたびの全株式取得により、垂直統合したサプライチェーンの強化・拡大を図り、当事業の長期的な成長を加速していきます。

産業ガス

- ベルギーにおいて、Terranova nvとLuminusとともに、グリーン水素を製造する合弁会社Terranova Hydrogen NVを設立し、グリーン水素製造プラントを建設し、運営します。製造開始は2025年初頭を予定しています。
- 1 PointFive社と、同社がテキサス州に建設するDAC（Direct Air Capture）プラント向け酸素供給契約を締結しました。2025年半ばの操業開始を予定しています。
- 大陽日酸系統科技股份有限公司に2023年11月に新工場を建設し、エレクトロニクス向け機器事業拡大に向け製作能力を約2倍に増強しました。

ヘルスケア

- エダラボン経口懸濁剤（開発コード：MT-1186）について、筋萎縮性側索硬化症（ALS）を適応症として、2023年5月にスイス（製品名：「RADICAVA® Oral Suspension」）で承認を取得しました。同剤は、米国・カナダ・日本で既に承認されています。

ベーシックマテリアルズ

- LIBや半導体の需要拡大に対応するため、岡山事業所において γ -ブチロラク톤の生産能力を、現在の18,000 t / 年から20,000 t / 年に増強することを決定しました。2024年7月の稼働を予定しています。
- ポートフォリオ改革の一環として、当社グループが保有する高純度テレフタル酸（PTA）事業を行うPT Mitsubishi Chemical Indonesia（MCCI）の株式を、PT Lintas Citra Pratamaに譲渡することを2023年12月に決定しました。これに伴い、当社グループのMCCIの株式保有比率は20%となります。今後段階的に売却し、MCCIは将来的にPT Lintas Citra Pratamaの100%子会社となる予定です。

その他

- ポートフォリオ改革の一環として、当社グループが保有するクオリカプス株式会社の全株式を、Roquette Frères SAへ譲渡することで同社と合意し、2023年7月28日付で株式譲渡契約を締結し、同年10月に譲渡を完了しました。

連結損益計算書 四半期別推移



為替レート (¥/\$)	131.3	139.4	139.9	133.4	136.0	139.6	145.6	146.1	143.8
ナフサ単価 (¥/kl)	86,100	81,400	72,500	66,500	76,600	67,500	63,600	72,800	67,900

(億円)

	23/3月期					24/3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	累計
売上収益	11,065	11,633	11,364	12,283	46,345	10,612	10,887	10,952	32,451
コア営業利益 *1	721	505	553	1,477	3,256	508	688	643	1,839
非経常項目	△ 41	△ 1	△ 1,251	△ 136	△ 1,429	189	1	96	286
営業利益(△損失)	680	504	△ 698	1,341	1,827	697	689	739	2,125
金融収益・費用	71	△ 35	△ 130	△ 53	△ 147	△ 9	△ 75	△ 123	△ 207
(内、受取配当金)	(78)	(2)	(11)	(32)	(123)	(46)	(1)	(13)	(60)
(内、為替差損益)	(37)	(30)	(△ 64)	(△ 4)	(△ 1)	(45)	(27)	(△ 42)	(30)
税引前利益(△損失)	751	469	△ 828	1,288	1,680	688	614	616	1,918
法人所得税	△ 218	△ 87	361	△ 381	△ 325	△ 130	△ 231	△ 114	△ 475
当期利益(△損失)	533	382	△ 467	907	1,355	558	383	502	1,443
親会社の所有者に帰属する 当期利益(△損失)	449	290	△ 569	794	964	425	247	367	1,039
非支配持分に帰属する当期利益	84	92	102	113	391	133	136	135	404
*1 内、持分法投資損益	40	32	27	20	119	27	15	23	65

コア営業利益増減分析 (2Q→3Q)



非経常項目 四半期別推移

(億円)

	23/3月期					24/3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	累計
非経常項目 合計	△ 41	△ 1	△ 1,251	△ 136	△ 1,429	189	1	96	286
関係会社株式売却益	-	-	22	11	33	56	18	202	276
工場閉鎖関連損失引当金戻入額	-	-	-	-	-	-	-	64	64
資産除去債務戻入益	-	-	-	-	-	-	26	-	26
固定資産売却益	0	6	1	17	24	8	0	8	16
減損損失	△ 2	△ 17	△ 858	△ 57	△ 934	△ 0	△ 32	△ 105	△ 137
事業整理損失	△ 1	△ 0	△ 6	△ 26	△ 33	△ 20	△ 7	△ 15	△ 42
固定資産除売却損	△ 2	△ 12	△ 10	△ 15	△ 39	△ 11	△ 2	△ 11	△ 24
事業整理損失引当金繰入額	-	-	-	△ 57	△ 57	△ 4	△ 1	△ 12	△ 17
特別退職金	△ 0	△ 0	△ 43	△ 63	△ 106	△ 2	△ 2	△ 8	△ 12
工場閉鎖関連損失引当金繰入額	-	-	△ 312	45	△ 267	-	-	-	-
その他	△ 36	22	△ 45	9	△ 50	162	1	△ 27	136

事業セグメント別 EBITDAマージン推移

	23/3月期 *1	24/3月期 3Q累計	24/3月期 予想	26/3月期 目標 *2	26/3月期 目標 *3
全社	10.1%	11.8%	11.5%	18.0%	15.0%
スペシャリティマテリアルズ	9.0%	7.6%	8.6%	16.0%	16.0%
産業ガス	19.1%	22.2%	21.0%	24.0%	24.0%
ヘルスケア	7.7%	19.4%	16.5%	15.0%	15.0%
MMA	6.4%	7.9%	9.4%	15.0%	15.0%
ベーシックマテリアルズ	4.6%	2.6%	3.5%	—	5.0%

EBITDA：コア営業利益－コア営業利益に含まれる持分法による投資損益＋減価償却費及び償却費

*1 ジレニアの仲裁判断の結果を控除して算定した23年3月期のEBITDAマージン（含めて算定したEBITDAマージンは、全社 12.6%、ヘルスケア 29.4%）

*2 石化事業JV化(50%保有)ケース

*3 石化事業100%保有ケース

参考資料②

ヘルスケアセグメント 医薬品事業 研究開発の状況 等

主な開発パイプライン 一覧

2024年1月25日現在

領域	治験コード	開発地域	適応症 / 特徴	P1	P2	P3	申請	承認
中枢神経	ND0612	グローバル	パーキンソン病					
	MT-3921	グローバル	脊髄損傷					
	MT-0551	日本 ^{*1}	重症筋無力症					
	MT-8554	日本	末梢性神経障害性疼痛					
免疫炎症	MT-7117	グローバル	赤芽球性プロトポルフィリン症 (EPP) X連鎖性プロトポルフィリン症 (XLP)					
		グローバル	全身性强皮症					
	MT-2990	グローバル	子宮内膜症					
	MT-0551	日本 ^{*1}	IgG4関連疾患					
日本		全身性强皮症						
がん	MT-2111	日本	再発又は難治性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫 (単剤療法)					
		日本 ^{*2}	再発又は難治性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫 (リツキシマブとの併用療法)					

^{*1}アムジェン社と共同開発

^{*2} ADCセラピューティクス社と共同開発

主な開発パイプラインの上市計画

	24/3月期	25/3月期	26/3月期以降
中枢神経	MT-1186 ALS(経口懸濁剤) (日本*1)	ND0612 パーキンソン病 (グローバル)	MT-0551 重症筋無力症 (日本*2)
免疫炎症			MT-0551 IgG4関連疾患 (日本*2) MT-7117 EPP, XLP (グローバル)
糖尿病・腎		TA-7284 OD錠 2型糖尿病、2型糖尿病を合併する 慢性腎臓病*3 (日本)	
ワクチン	MT-2355 5種混合ワクチン*4 (日本)		
がん			MT-2111 再発又は難治性びまん性大細胞型 B細胞リンパ腫 (単剤療法) (日本) MT-2111 再発又は難治性びまん性大細胞型 B細胞リンパ腫 (リツキシマブと の併用療法) (日本*5)

*1 スイスで上市済み

*2 アムジェン社と共同開発

*3 2型糖尿病を合併する慢性腎臓病 ただし、末期腎不全又は透析施行中の患者を除く

*4 小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎およびHib感染の予防

*5 ADCセラピューティクス社と共同開発

: グローバル (米国上市年度)
 : 日本・中国
 : 上市済み

医薬品事業 損益計算書 (2024年3月期 3Q実績)

	23/3月期		24/3月期		増減	増減率
	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計		
売上収益	1,168	3,199	1,186	3,380	181	5.7%
国内	921	2,522	838	2,413	△ 110	△ 4.4%
海外	247	676	348	967	291	43.0%
海外売上比率	21.1%	21.1%	29.3%	28.6%		
売上原価	560	1,615	552	1,644	29	1.8%
売上原価率	48.0%	50.5%	46.5%	48.6%		
売上総利益	607	1,584	634	1,736	151	9.6%
販管費等	450	1,384	404	1,178	△ 206	△ 14.9%
研究開発費	237	690	156	455	△ 235	△ 34.0%
コア営業利益	158	200	231	558	358	179.0%
非経常項目	△ 516	△ 529	△ 9	112	641	
営業利益	△ 358	△ 329	222	669	999	-
親会社の所有者に 帰属する当期利益	△ 19	△ 11	142	516	527	-

* 当期において、為替レートの変動により、売上収益で約+42億円、コア営業利益で約△2億円の影響がありました。

医薬品 製品別売上収益（2024年3月期 3Q実績）

(億円)

	23/3月期		24/3月期		増減	増減率
	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計		
国内医療用医薬品	896	2,449	813	2,340	△ 109	△ 4.5%
重点品・新製品	488	1,295	464	1,325	30	2.4%
ステラーラ	213	523	175	514	△ 9	△ 1.7%
シンポニー	119	342	115	340	△ 2	△ 0.7%
テネリア	44	125	37	92	△ 33	△ 26.5%
カナグル	32	91	32	93	2	2.4%
カナリア	30	70	27	82	12	17.0%
バフセオ	6	15	6	18	2	14.1%
ユプリズナ	9	19	20	45	26	132.1%
ルバフィン	24	63	24	61	△ 2	△ 3.6%
ジスバル	7	28	13	38	11	39.1%
ラジカット	6	17	16	42	24	138.4%
ワクチン	114	304	101	287	△ 17	△ 5.5%
インフルエンザ	53	117	46	113	△ 4	△ 3.4%
テトラビック	25	70	23	69	△ 1	△ 1.3%
ジェービックV	9	33	8	25	△ 8	△ 23.5%
ミールビック	12	39	10	38	△ 2	△ 4.1%
水痘ワクチン	12	35	11	31	△ 4	△ 11.7%
長期収載品等	294	850	248	727	△ 123	△ 14.4%
レミケード	93	273	78	236	△ 37	△ 13.7%
海外医療用医薬品	222	590	279	838	248	42.1%
ラジカヴァ	146	343	200	598	255	74.4%
ロイヤリティ収入等	28	96	72	139	43	44.4%
インヴォカナ ロイヤリティ	13	45	14	44	△ 1	△ 3.0%
ジレニア ロイヤリティ	6	21	34	53	32	150.8%

参考資料③

スペシャリティマテリアルズ 市場別動向

スペシャリティマテリアルズ・最重要戦略市場動向

最重要戦略市場		主要製品	2024年3月期 第3四半期 概況	2024年3月期 第4四半期以降 見通し
EV/モビリティ		電解液 繊維強化プラスチック・ 複合材料 コンパウンド	半導体不足等の影響が緩和し、グローバルで回復基調が見られる	グローバルで回復基調は継続。2024年の自動車生産台数は前年比増加を見込む EV市場は拡大基調継続
デジタル	半導体	半導体洗浄サービス エポキシ樹脂 半導体装置パーツ	2022年度下期に本格化した半導体市場の停滞継続も、一部底打ちの兆しが見られる	徐々に回復し、本格回復は2024年後半以降を見込む 中長期的には車載及びデータセンター向け等の一層の需要拡大により市場成長は続く見通し
	エレクトロニクス	光学用フィルム ディスプレイ関連材料	上期に回復が見られたパネルメーカーの稼働は再度調整局面	当面は調整局面が継続も、2024年度以降徐々に回復を見込む
メディカル		インプラント用樹脂・素材	グローバルで堅調に推移	グローバルで底堅く推移 中長期的には高齢化人口の増加、生活習慣病や慢性疾患の罹患率の増加により市場成長は続く見通し
食品		乳化剤 包装フィルム 包装材料	インフレの影響等によりグローバルで食品包装材料市場は軟調に推移	食品包装材料市場はグローバルで需要が緩やかに復調 中長期的にはフードロス削減等のニーズを背景に需要拡大を見込む

スペシャルティマテリアルズ・市場別 売上収益及びEBITDA

(億円)

	23/3月期 実績		24/3月期 3Q累計		24/3月期 予想		26/3月期 目標	
	売上収益	EBITDA	売上収益	EBITDA	売上収益	EBITDA	売上収益	EBITDA
スペシャルティマテリアルズ	12,300	1,110	8,700	660	12,200	1,000	13,700	2,250
EV/モビリティ	2,000	110	1,550	100	2,200	140	2,500	340
デジタル	2,300	350	1,700	220	2,400	280	3,500	750
半導体	1,000	190	700	90	950	120	-	-
エレクトロニクス	1,300	160	1,000	130	1,450	160	-	-
メディカル	600	70	450	50	650	80	1,600	300
食品	2,100	340	1,500	260	2,100	350	2,200	390
産業材、消費財、建設等	5,300	240	3,500	30	4,850	150	3,900	470

* 市場別内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

ここで記す「説明会」とは、三菱ケミカルグループ株式会社（以下、「当社」）によって説明または配布された本資料、口頭でのプレゼンテーション、質疑応答及び書面または口頭等の資料を含みます。

本説明会および本資料における見通しは、現時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、業績予想と大きく異なる可能性があります。

当社グループは各種機能商品、MMA、石化製品、炭素製品、産業ガス、医薬品等、非常に多岐に亘る事業を行っており、その業績は国内外の需要、為替、ナフサ・原油等の原燃料価格や調達数量、製品市況の動向、技術革新のスピード、薬価改定、製造物責任、訴訟、法規制等によって影響を受ける可能性があります。但し、業績に影響を及ぼす要素はこれらに限定されるものではありません。

なお、医薬品（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイスを目的とするものではありません。